



「人間万事塞翁が馬」～合唱祭を通して感じたこと～

ライフタウンの街路樹も色づき始め、天気の良い日には、富士山がきれいに見られるようになってきました。空気が澄んできたからでしょうか。「空気が澄む」とは気温や湿度に関係があるようです。空気が乾燥し、インフルエンザ等の感染も心配な時季でもありますので、ご自愛ください。

さて、本校では10/12(木)にさわやかな秋空のもと、藤沢市民会館で第42回合唱祭が行われました。しかし、3年生ひとクラスが直前にインフルエンザ等による欠席者が多く、学級閉鎖の措置を取らざるを得ない状況となりました。(他クラスにも複数の欠席者がいました。)そのため、苦渋の選択ではありましたが、当日は1, 2年生のみ審査を行い、3年生については『プレ発表』とし、改めて18日(水)に体育館で『3年生 合唱祭』を実施することとしました。

12日の開会式では「校長挨拶」で私が中学生の時に歌った合唱を紹介し、「今年のスローガンは『努来賞(どっこいしょう)～努力をすれば賞は来る～』ですが、『努来笑』というつもりでステージでは笑顔で歌って欲しい。」さらに「このステージで歌えることは決して当たり前ではない。歌えないクラスのことも考えて、今できることを精一杯やって欲しい。」と伝えました。

1年生のトップバッターは約1週間前まで7日間の学級閉鎖だった1年3組でしたが、そうした空白を感じさせない力強い元気な合唱で幕が開きました。1年生の合唱というと、初めての経験ということもあり、どうしても声が小さかったり、ばらばらであったりするクラスが出てしまう傾向にありますが、どのクラスも“まとまり”を感じる合唱でした。

2年生は各パートの存在感が感じられるような調和のとれた“響き”を感じる合唱でした。どのクラスも気持ちのこもった合唱だったので、昼食時間にお昼を食べている奥田公園に行き、思わず「すごく良かったぞ～」と2年生全員に向かって叫んでしまいました。

3年生は表現力豊かで歌詞に込められた“メッセージ”が十分に感じられるような素晴らしい合唱でしたが、こんな立派なステージで全校生徒や保護者の前で発表してしまうと、18日当日までモチベーションを維持することができるのかという心配も出てきました。また、ステージに立てなかった3年1組の生徒たちのことを考えると、心が痛みました。しかし、そうした私の心配や不安は杞憂に終わりました。18日の本番では12日よりさらにパワーアップしているクラスが多く、見事な合唱を披露してくれました。心配していた3年1組も「このステージに全てをかける」という熱い気持ちが伝わってくる合唱でした。18日の開会式では私の方から「市民会館のステージに比べたら、立派ではないし、ピアノも高価なものではないけれど、前期終業式の時に話した仙台市立八軒中学校のことを思い出して欲しい。八軒中学校は本来は合唱の全国大会のステージで歌うはずだった日に東日本大震災の避難所として利用されていた自分たちの学校の体育館で被災者の方々のために歌ったことを。皆さんも一番使い慣れたこの体育館のステージはこの上ない晴れ舞台です。他のクラスと比較するのではなく、自分たちらしい合唱を目指して頑張りたい。」と激励しました。今回の合唱祭を通して、私は以前、IPS細胞の研究でノーベル賞を受賞した山中伸弥教授が書いた次のような新聞記事を思い出しました。

「・・・このような経験から、私は物事が順調に進んでいるときは『悪いことの始まりではないか』と用心し、思うように進まないときや、好ましくない出来事が起きたときは『これがどんな良いことにつながるのだろう』と考えるように心がけています。ジャンプするとき、低くかがむほど高く跳べます。人生も同じだと思います。もう一つ心がけていることは『良いことはおかげさま。悪いことは身から出たさび』です。良い結果



は、多くの人の協力があって初めて出すことができます。『おかげさま』は私が大好きな日本語の一つです。片や、悪いことが起きると他の人のせいになんて思ってしまうのですが、原因は必ず自分の中にあります。・・・」

前半部分は正に『人間万事塞が翁』という言葉そのものだと思います。今回学級閉鎖という不運に気落ちせず前向きに努力を重ねたクラス、また、市民会館の発表で気持ちを切らさず、さらにより良い合唱を目指して取り組んだ3年生に大きな拍手を送りたいと思います。

また、今回は各クラスの発表前にプレゼンターとなった生徒が自分たちのクラスの特徴や曲の紹介をする場面もあり、合唱を聴く側からも楽しめた合唱祭になったのではないかと思います。合唱祭を開催するにあたり、事前の準備や当日の運営、片付けまで積極的に取り組んでくれた実行委員会の生徒、さらに今回も保護者の参観に際して受付や誘導等にご尽力をいただいた、けやきの会本部役員の皆様にこの場を借りて、改めて感謝の気持ちを伝えたいと思います。本当にありがとうございました。



2年創作ダンス発表会が行われました

10/16(月)、17(火)に体育の授業で取り組んできた2年生の創作ダンスの発表会が行われました。0から創り上げなければならぬため、難しい課題ですが、昨年度取り組んだ経験を活かし、意見交換しながら、少しずつ創り上げていきました。当日は精一杯自分たちが考えたオリジナルのダンスを表現してくれました。やり終えた後の生徒たちの顔は充実感に満ちあふれていたように思います。こうした過程が子どもたちを大きく成長させるきっかけになるのではないのでしょうか。発表したグループの中で代表となったひとグループが11/9(木)に藤沢市民会館で開催される市内ダンス交歓会に参加します。

藤沢市新人大会等の主な結果

- 野球部：準優勝
- サッカー部：1回戦惜敗
- 卓球部：男子団体5位、女子団体3位、男子個人準優勝
- バレーボール部：男子1回戦惜敗、女子1回戦惜敗
- ソフトテニス部：男子団体7位、女子団体5位 女子個人3位
- バドミントン部：男子ベスト16、女子3位
- バドミントン部：男子シングルス・女子ダブルスベスト16
- 剣道部：男子団体予選リーグ惜敗、女子団体優勝 女子個人準優勝・3位
- 陸上競技部：男女総合5位、男子総合4位
- ソフトボール部：1回戦惜敗



今回の大会で好成績を残せたことが自分にとって良いことなのか、好成績を残せなかったことが悪いことなのかは、今後の取り組みによって変わってきます。これからも応援しています。

“文化の秋”～文化部も活躍！～

吹奏楽部と合唱部は10/28、29に行われた湘南大庭ふるさとまつりで素敵な演奏と歌声を披露してくれました。(吹奏楽部は湘南台ファンタジアにも参加しました。)科学部も10/22に湘南台文化センターで開かれた理科研究発表会で『植物の研究・調査について』というテーマで発表してくれました。美術部も県的美術展をはじめ、さまざまなポスターコンクールに見事な作品を出品しています。



後期初めての全校評議委員会開催！

10/16(月)生徒会新本部役員による後期初めての全校評議委員会が開かれました。最初に本部役員、各クラスの評議委員、各専門委員長から抱負が述べられた後、『Challenge together～たくさんの笑顔のために～』というスローガンが紹介されました。前期生徒会も工夫して今までにない取り組みをしてくれました。後期も前例にとらわれず、新たな発想で全校生徒のために力を尽くしてくれたらと願っています。



☆右下の写真は8組の生徒が美術の時間に作った作品です。ハロウィンの雰囲気良く出ていますね！